

特記仕様書

箕輪町 建設課

1 業務名（場所）

令和6年度 箕輪町管理河川浚渫事業 河川測量業務委託
（準用河川 樺ノ木川 箕輪町木下）

2 総 則

本業務は今年度渇水期に予定の河川浚渫事業にかかる測量業務であり堆積土砂量の調査等を目的とする。

本特記仕様書、公共測量作業規定、長野県公共測量作業規定のほか長野県公式ホームページにある共通仕様書を基準書とする。

工事实施内容については次を予定しているので、本工事遂行を目的とする河川測量を実施されたい。

河川浚渫工（堆積土砂の除去）・河川敷の立木伐採処理 樺ノ木川 L＝900m

3 履行期間

当初履行期間は令和6年10月31日とするが、現地調査等やその他の理由により日数を要する場合は、監督員との協議により履行期間の延長を可とする。

なお、地元区、他関係機関との協議調整を図りながら作業を実施するので予め承知のこと。
詳細な工程については、第1回打合せ時に説明予定である。

4 調査対象地域

調査対象地域は、別図のとおりである。

5 業務内容

業務内容は以下のとおりである。なお、作業実施前に必ず業務計画書を提出されたい。
地形図作成は要しない。提供する1/2500地形図に測点記入によるものと予定している。

「測量業務」

（1）4級基準点測量

樺ノ木川 8点想定

（2）作業計画

作業計画は、河川測量に必要な状況を把握し、路線測量の細分ごと作成する。（作業内容の把握、資料の収集、作業方法、作業工程、作業班編成、使用機器、安全管理）

測量業務実施にあたり打合せを行うものである。実施後は速やかに打合せ記録簿を作成し、承認を得ること。

（3）現地踏査

測量箇所について、作業前に現地を確認する作業である。測量支障物件、付近の現況等について確認を行うこと。

（4）中心線測量

路線測量準用により設計計上している。

測点間隔は50mを基本とし、主要点及び中心点を現地に仮設置し、横断面図作成の基とする。

(5) 縦断測量

中心杭等の標高を定め、縦断面図を作成する。測点間隔は50m程度を基本とするが、変化点についても追加のうえ測量すること。

(6) 横断測量

中心杭等を基準にして地形の変化点等の距離及び地盤高を定め、横断面図を作成する。測量幅員は概ね20m、測点間隔は40m程度を基本とするが、変化点（堆積土砂量を含む）についても追加のうえ測量すること。

堆積土除去を目的としているので、構造物の詳細図作成は不要とし、河川断面と堆積土はレイヤーを変えて図面作成のこと。

堆積土量を横断測点ごとにCAD値による数値化として図面に表記する。

(7) 立木調査

河川敷内の幹周10cm以上の立木を調査し平面図および数量表を打ち合わせの上作成する。

(8) 打合せ協議

中間打合せについては最低1回とする。

実施後は速やかに打合せ記録簿を作成し、承認を得ること。

6 留意事項

本業務実施にあたり、関係地権者及び地元区へ測量実施の通知を配布するので、実施時期について協議を行うこと。民地へ立ち入る場合で、所有者等が居る場合は必ず声をかけ身分を明示するとともに名札等を必ず着用のこと。

7 提出書類

(1) 契約時提出書類

名 称	部 数	規格	備 考
契約書	2部	A4	電子契約
着手届	1部	A4	
主任技術者 通知 担当技術者 通知	1部	A4	
業務（作業）計画表	1部	A4	

(2) 業務中提出書類

名 称	部 数	規格	備 考
業務（作業）計画書	1部	A4	
業務工程表	1部	A4	出来高報告
管理体制及び連絡体制	1部	A4	
貸与品等借用書	1部	A4	

打合せ記録簿	1 部	A 4	
--------	-----	-----	--

(3) 完了時提出書類

名 称		部 数	規格	備 考
完了届		1 部	A 4	
成 果 品	報告書 図面含 1 式 ※CD 1 枚	1 部	A 4	A 4 規格ファイル 1 冊にて 納品図面は折込
	業務工程表	1 部	A 4	
	業務日報（実施状況記録）	1 部	A 4	
	打合せ記録簿	1 部	A 4	
請求書		1 部	A 4	

※ その他詳細については、打合せ時に協議のこと。

※ 保存媒体には全ての写真、文書、数量表はマイクロソフト エクセルデータ、CAD データ（SXF）及びPDF変換データ（A3版規格に変換）等を保存して提出のこと。（一般のパソコンで容易に作業できるものとする）

「長野県設計業務委託共通仕様書 設計業務委託に係る様式（最新版）」を準用のこと